



Knowledge Management Society of Japan
WASEDA Intellectual Capital Research Society
World Intellectual Capital / Assets Initiative Japan

**International Symposium on Toward Developing New Phase of Creating the Knowledge of
Organization in Business Enterprise, Community and the General Public II**

早稲田大学知的資本研究会・日本ナレッジ・マネジメント学会・WICI ジャパン共催
国際シンポジウム「企業・コミュニティー・社会における組織知の新たな形成に向けて II」

Date & Time: 30 November, 2016(Wed) 10:00~18:00

Venue: Ono Auditorium of Waseda University

Address: 1-103 Totsuka-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 169-0071

Phone: +81-3-3203-9746

Home Page: <https://www.waseda.jp/culture/ono/>

開催日時: 2016年11月30日(水) 10:00~18:00

会場: 早稲田大学 小野記念講堂

住所: 〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-103

電話: 03-3203-9746

<https://www.waseda.jp/culture/ono/>

開催趣旨:

21世紀に入り15年を経過しつつあるなか、一方で、先進国の経済・社会では、前世紀を形作った産業資本主義社会にITベースの知識共有化を加えてIoTに代表される新たなステージへと歩を進めている。他方で、新興国は産業資本主義社会の物的生産経済の成果を吸収しつつ先進国へのモノ供給により新たな富を蓄積してきている。しかし、それらの背後には、経済発展から取り残され資源の収奪と貧困から抜け出せず苦しむ発展途上の国々がある。

富める国、貧しい国さらにその中間にある国のいずれにおいても、不思議に共通するのは、「現在の状況が将来にわたって継続できないのではないか」という不安に駆られていることである。それが新たな社会不安の種となり、社会の不安定要因を増幅させつつあることを認識しなければならない。経済の発展段階を異にした社会が併存し、共存しなければならない時代にあつて、国やその連合体、地域社会やコミュニティー、さらにはそれらを構成する企業とそのステークホルダーといった各組織は、必要な知識をどのように共有し、それぞれの組織／社会に必要な新たな知の創造に繋げていくのが、いま問われ始めている。

換言すれば、ナレッジ・マネジメントに関し、DIKW(Data-Information-Knowledge-Wisdom)モデルとSECI (Socialization-Externalization-Combination-Internalization)モデルの対立を超越し、それらを2本の柱として、経済の発展段階ならびに社会ないしその構成単位が自らの存在意義をどのように、かつどこまで深く自覚しているかに応じて、それぞれの組織／社会にとっていま求められる組織知の形成と持続に取り組まなければならないのではないだろうか。

この問題意識に立ち、欧米、東アジアおよび日本において、組織に必要な知識の形成と持続に取り組む関係者が集い、①それぞれのKMに関する状況と課題を紹介し、②相互に認識を深め、それぞれの組織の課題の解決への取り組みに互いが学びつつ、③KMがナレッジのコミュニケーションを軸に展開する活動と連携しつつどのように貢献できるのかについて意見交換を重ねて、これからKMが進むべき方向を見出すことを目指し、次のようなプログラム案で国際シンポジウムを開催することにしたい。

Program(draft)

プログラム案:

10:00-10:05 **Opening Remark** :Prof. Yasuhito Hanado (President of KMSJ)
開会の辞 花堂 靖仁 氏(日本ナレッジ・マネジメント学会理事長)

【Keynote Speeches & Summing up the points-25 minutes for each speech】

【**基調講演と論点整理**-統一テーマに関する25分の基調講演と質疑および提示された論点の確認と意見交換】

10:05-10:35 **Keynote Speech 1 “The Future of Knowledge Management Global Network”**
Mr.Chee Hong Mok (Vice President of Information & Knowledge Management Society
Singapore – t.b.a)

基調講演 1 「KMGN 活動の将来展望」

Mr. Chee Hong Mok (Vice president of Information & Knowledge Management Society
Singapore – 交渉中)

10:35-11:05 **Keynote Speech 2 “The Power of WICI Intangibles Reporting Framework”**

Ms.Mariko Mishiro (The Representative of RIDEAL)

基調講演 2 「WICI 無形資源報告フレームワークの力」

三代 まり子 氏 (RIDEAL 代表)

11:05-11:35 **Keynote Speech 3 “Knowledge Management in the Age of IoT”**

Mr. Koji Tanaka (Director of KMSJ)

基調講演 3 「IoT 時代のナレッジ・マネジメント」

田中 孝司 氏 (日本ナレッジ・マネジメント学会理事)

11:35-12:05 **Summing up the Points of Keynote Speeches**

Moderator: Prof. Hirofumi Abe (Univ. of Electro & Communication)

Mr.Tadao Nakamura (Member of KMSJ)

基調講演の論点整理とまとめ

モデレーター 安部 博文 氏 (電気通信大学産官学連携センター特任教授、本学会理事)

中村 忠雄 氏 (日本ナレッジ・マネジメント学会会員)

12:05-13:30 **Networking Lunch**
ネットワーキング・ランチ

**【Reports of Cases on Creating the Knowledge of Organization in Japan & Summing Up the Points-
20minutes Report and Discussion】**

【実践例による発題の論点整理と質疑・意見交換-発題者による 15 分程度のプレゼンテーションと質疑応答を含む意見交換を行う】

13:30-14:35 **Theme 1 “Some Results of Task Forces on Value Creation Drivers Discovery”**

Presenter: Mr. Kimio Katsuyama(PwC Consulting)

Reporter: ① Mr. Hisao Kumakura(3MJapan)

② Mr.Yasuaki Higashitani(Honda Motor Co., Ltd)

Moderator: Prof. Yasuhito Hanado (Kokugakuin Univ.)

テーマ1 「組織知形成の実践例」

発題者:「価値創造ドライバーを発見するには」

勝山 公男 氏(PwCコンサルティング)

報告者:熊倉 久雄 氏(3Mジャパン)

東谷 泰明 氏(本田技研工業株式会社)

司会者:花堂 靖仁 氏(WICI ジャパン特別顧問、國學院大學名誉教授)

14:35-15:05 **Theme 2 “Development of Knowledge Creation Practices Promoted by
Small & Middle Enterprises in Chubu District”**

Presenter: Mr. Katsuhiko Kume (Vice President of KMSJ)

テーマ2 「中部圏における中小企業が推進する知的創造活動の展開(仮題)」

報告者:久米 克彦 氏(日本ナレッジ・マネジメント学会副理事長)

15:05-16:10 **Theme 3 “How to Utilize the Integrated Reporting to Share the Knowledge of
Organization with Both Inside and Outside Stakeholders – Japanese Public
Company’ Practices”**

Presenter:Mr.Takayuki Morishita(D.K.S. Co., Ltd)

Commentator: Dr. Masayoshi Miyanaga(CEO/FALCON Corporation)

Moderator: Mr. Yoichi Yazawa(Director of KMSJ)

**テーマ3 「組織の内外のステークホルダーとの組織知の共有を図るためにどのように統合報告
を活用しているのかー日本の公開会社の取り組み」**

報告者:統合報告作成企業担当者

森下 貴之 氏(第一工業製薬株式会社 広報室長)

コメンテーター:宮永 雅好 氏(株)ファルコン・コンサルティング CEO)

司会者 矢澤 洋一 氏(日本ナレッジ・マネジメント学会理事)

16:10-16:25 Coffee Break

16:25-17:55 **Final Round Table “Toward Developing New Phase of Creating the Knowledge of
Organization between Business Enterprise, Community and the
General Public in the Age of IoT”**

Panelists : Prof. Hiroyuki Kokado (Hosei University)

Prof. Hirofumi Abe (Univ. of Electro & Communication)

Mr. Tadao Nakamura (Member of KMSJ)

Moderator: Mr. Hideo Yamazaki (Executive Director of KMSJ)

**ラウンドテーブル「企業・コミュニティ・社会における組織知の新たな形成に向けて何を提
言するのか」**

パネリスト 小門 裕幸 氏(法政大学教授)
安部 博文 氏(電気通信大学産官学連携センター特任教授)
中村 忠雄 氏(日本ナレッジ・マネジメント学会会員)

モデレーター 山崎 秀夫 氏(日本ナレッジ・マネジメント学会専務理事)

17:55-18:00 **Wrap-up of the Symposium and Closing Speech**
Mr. Katsuhiko Kume (Vice President of KMSJ)

本シンポジウムの総括と閉会の辞
久米 克彦 氏(日本ナレッジ・マネジメント学会副理事長)

18:00-19:30 Networking Dinner
レセプション